

不幸な事故が僕の両親を奪い去り、それ以来、領地の管理責任は僕の肩に降りかかりました。天才児として評価されている僕でも、この重荷には息が詰まるよ。

未完成の仕事が
山積みで…



おいっす～☆！

ええ！？今日は
客が来る予定
だったのか…？





わぁ～！やっぱり本当にまだ子供なんだね！マシュマロ焼いてあげるよ！

観、観光客…？
なんでガードが君を入れてくれたんだ？

そうして、「ペコリーヌ」と名乗る変わり者のお姉さんに出会った。

それ以来、ペコリーヌ姉さんは時折私の邸宅に現れ、ガードはそれについてぼんやりとした答えしかしない。

私が来たことは内緒にしてね

"はい、お嬢様！"

?

今回のクッキーは甘すぎるよね…

元気いっぱい、いつも笑顔で変わった言葉で話すけど、何か上流貴族独特の優雅さを感じる。

ヤバイですね～☆！

そして毎回、慰労品としてさまざまなお菓子を持ってくるんだ。姉さんは同情から特別に僕を気にかけてくれているのかな…？

でもなんというか…
胸が本当に大きい！

体からは魅惑の香りが漂い

顔も綺麗だ

こんな難しいことが
理解できるなんて、
すごいね！

姉さん、
ちょっと近すぎるよ…

とにかく、ペコリーヌ姉ちゃん
の全てが僕を深く引き寄せる。

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



ペコリーヌ姉さんにふさわ  
しい男になるために！もっ  
と頑張るぞ！

愛しい、そんなに焦  
らないで～☆！

はああ…  
ペコリーヌ姉ちゃん！  
僕の子を妊娠してくれ！

?





あ…

ペコリーヌ…姉ちゃん…？

ごめんね、今は話し合うのが  
難しいの。次回こっそりおい  
しいもの持ってくるね～

ペコリーヌ

わかった、彼女が**ユースティアナ王女**  
なら、最初からどんなチャンスもなかったんだ。



隣国の王子がユースティアナ  
王女を追い求めているとか聞  
いたよ。

不公平だ

諦めるつもりはない

王室でも隣国の王子でも…

全部倒してやる

ペコリーヌ姉ちゃんは僕のものだ！





元々、僕は単なる王室の少しの厄介をかけたかっただけだったが、僕の行動が思いがけず大規模な反乱を引き起こした。

暴徒と反乱軍が宮殿に押し寄せ、ほぼ王室全員が拘束された。

政、政変！？  
それって僕のせいなの...？

状況の深刻さに気づいた時には、もはや手に負えない状態で、事態を挽回することは不可能だった。



今、重要なのは守衛に賄賂を送り、  
宮殿内で囚われているペコリーヌ  
姉ちゃんと会うことだ…

こんなふうに事態がエス  
カレートするとは予想し  
てなかった。

できるだけ挽回しよう  
と頑張ったんだけど…

姉ちゃん、僕を信  
じてくれる？

.....





外の混乱した雰囲気の影響かもしれませんが、徐々に僕の行動も大胆になってきました...

.....!

姉ちゃん、おちんちんを口に入れて。





この機会に姉ちゃんに  
『取引』を提案した。

よ、よくやった、  
この調子で続けよう。

.....







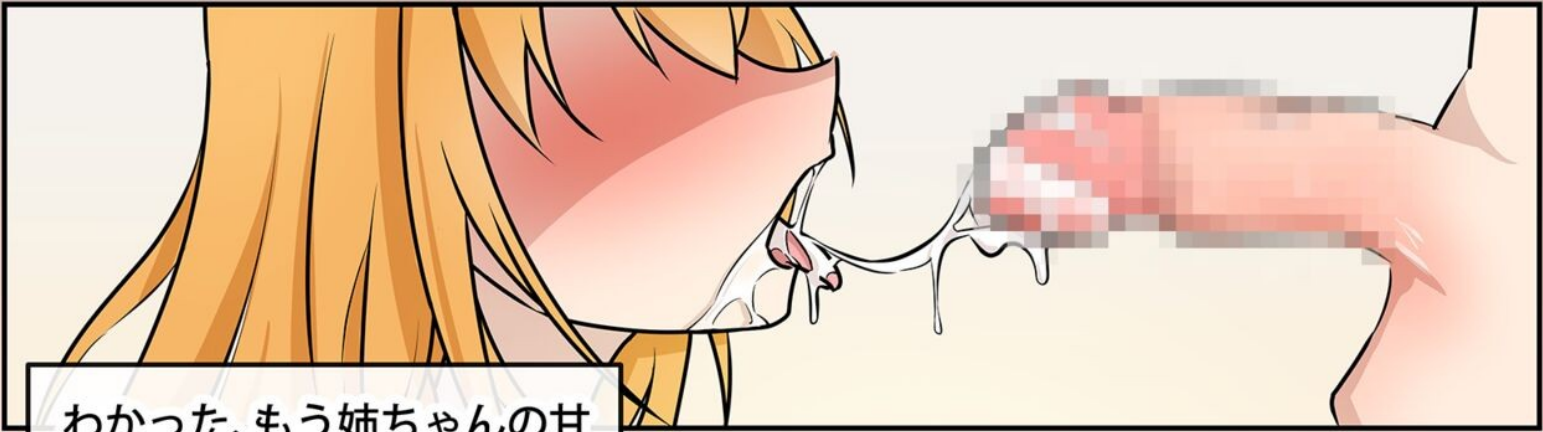
出ちゃう!  
飲み込んで!

んんっ!









わかった、もう姉ちゃんの甘い笑顔は見られないんだ...

.....約束を守って！  
生き残った子供たち  
を助けるんだ！

もちろん。  
ベッドで続けよう、  
姉ちゃん。

.....わかった。

彼女はずっと私を  
憎むでしょう。



その後、姉ちゃん是一言も言わず、  
僕たちはただひたすらセックスを  
していました。

姉ちゃん...姉ちゃん！





僕の夢が叶った。  
たとえそれがこの歪んだ形であつ  
たとしても…

足を開いて、姉ちゃん  
のアソコをじっくり見  
たいんだよ。

.....

お、お尻を上げて、  
僕に向けて！



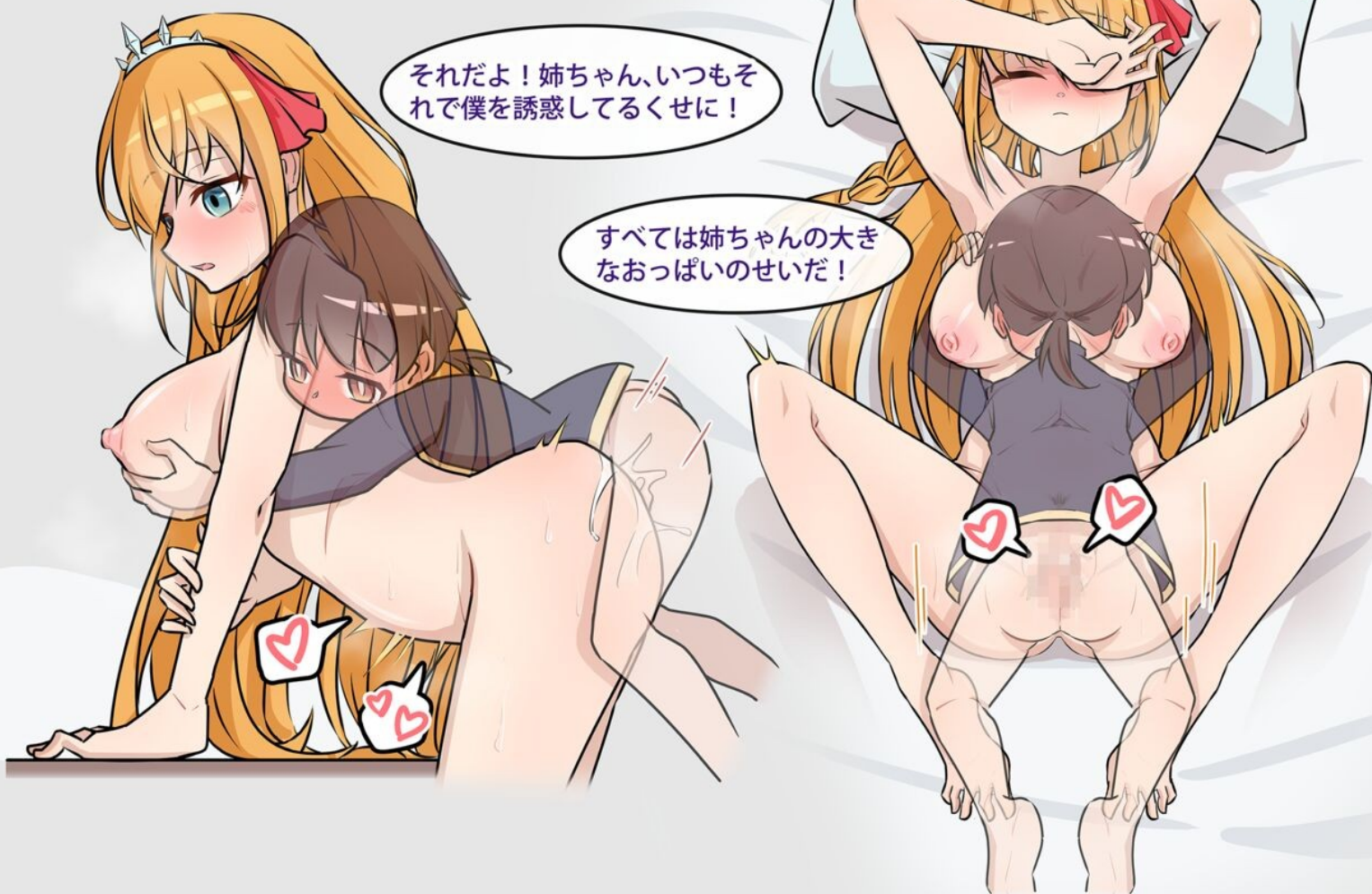


ペコリーヌ

この瞬間、**ユースティアナ**は本当に僕の女になった、僕だけのもの！

それだよ！姉ちゃん、いつもそれで僕を誘惑してくせに！

すべては姉ちゃんの大きなおっぱいのせいだ！



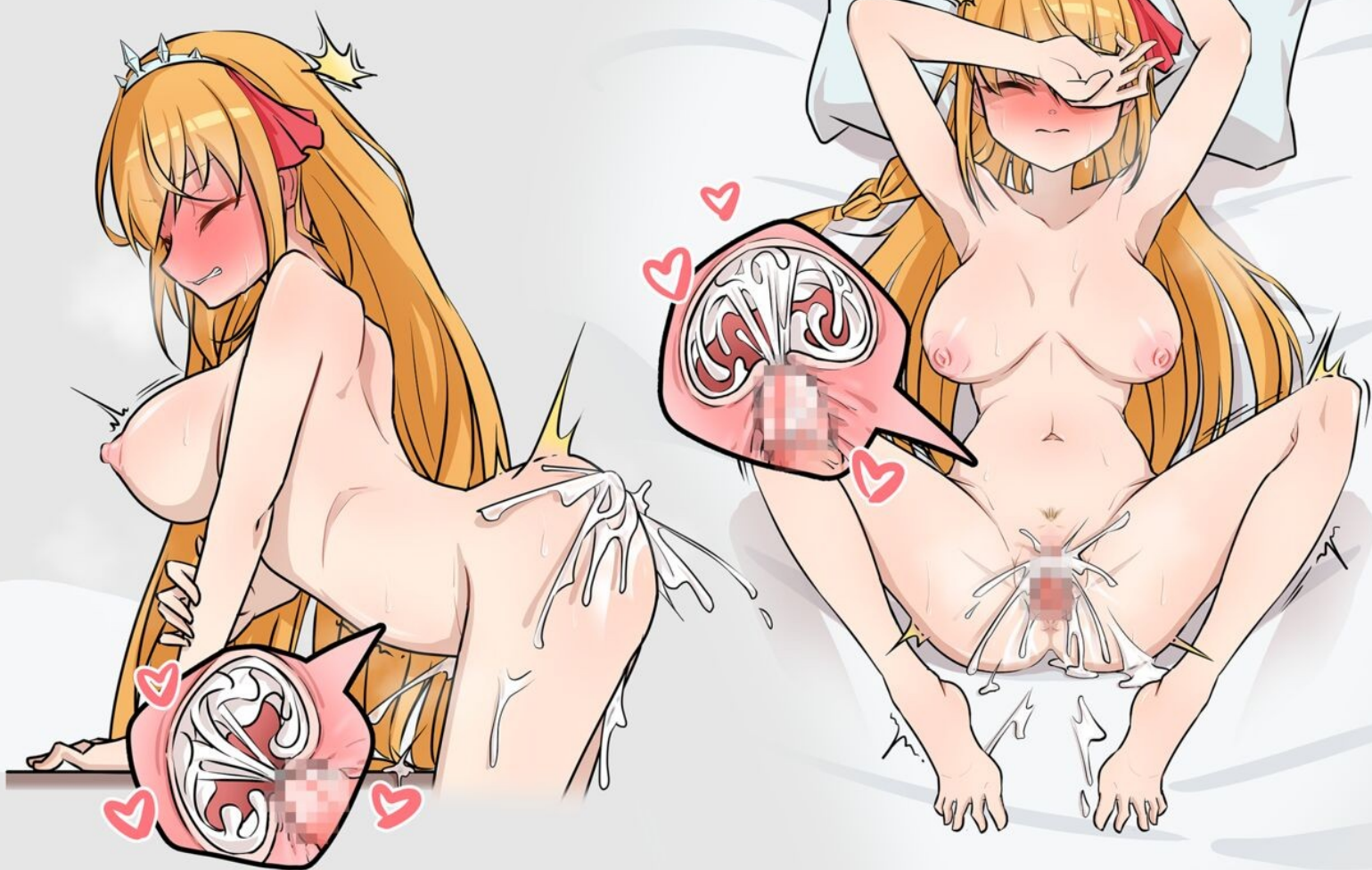
これはお前への罰だ、  
ユースティアナ！

お前の高貴な王家の  
子宮で、僕の子供を産  
んでくれ！





精子が子宮にぷしゅぷしゅと注がれるとき、姉ちゃんの実情が本当に可愛すぎる…





公開処刑の時刻が近づいてきたから、姉ちゃんにさっとシャワーを浴びてもらった。





ごめん、君を救えない。

最後まで姉ちゃんのそばにいるよ。



姉ちゃんの全身が微かに震えてるのが感じられる、きっと怖いんだろう.....  
大丈夫、すぐに終わるから。





君.....ここでなに  
してるの？

彼女を殺せ！

有罪！

くそったれ  
な王族！

そうだ、最後まで…

ペコリーヌ姉ちゃんはずっと僕のものだ！







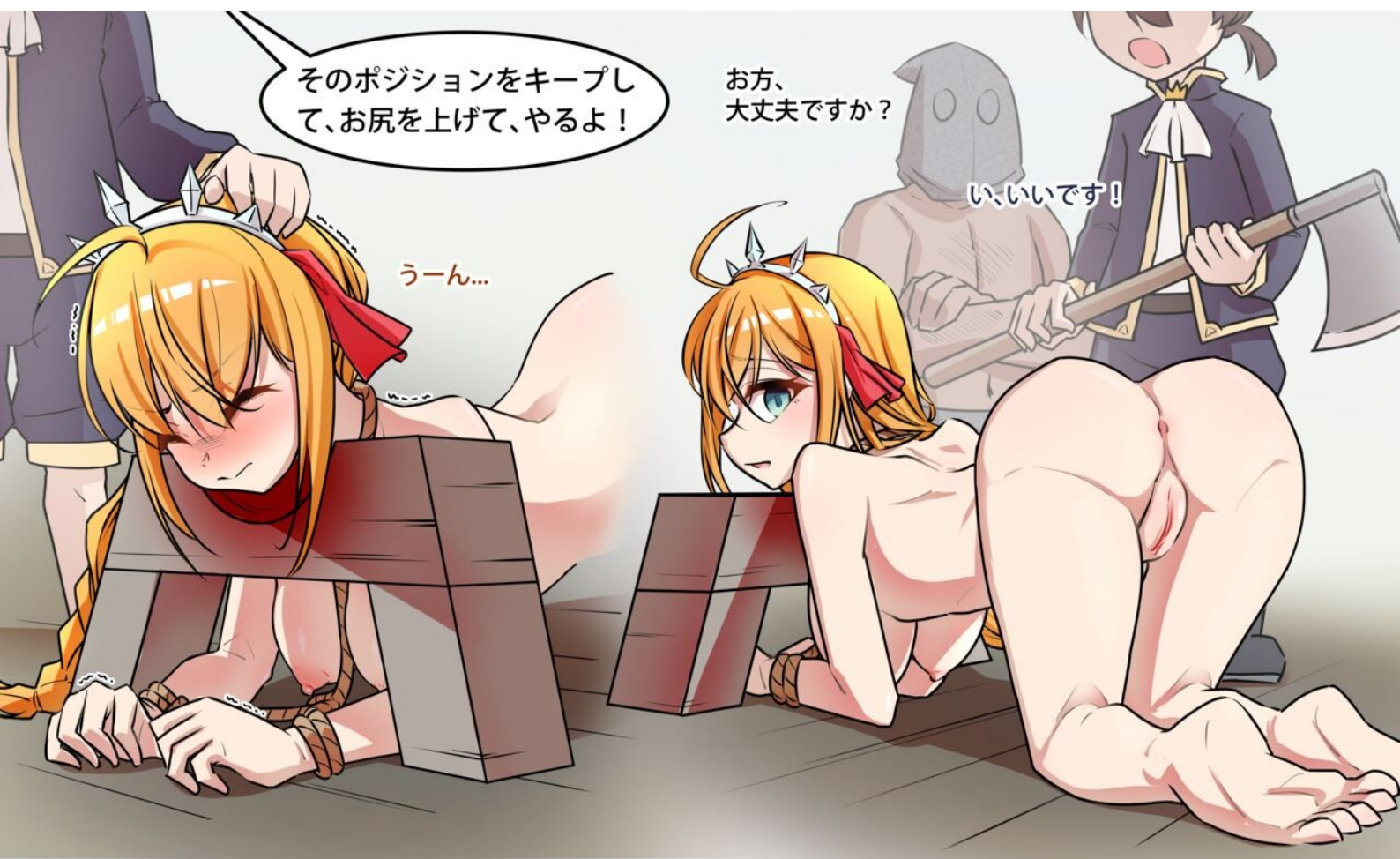
ペコリーヌ姉ちゃん、僕の  
出現にめっちゃムツリし  
てるみたいだな。

.....

ごめん、姉ちゃん。  
君を不機嫌にさせるつも  
りはなかったんだ。

さっさと終わろうぜ。





そのポジションをキープして、お尻を上げて、やるよ!

うーん...

お方、大丈夫ですか?

い、いいです!



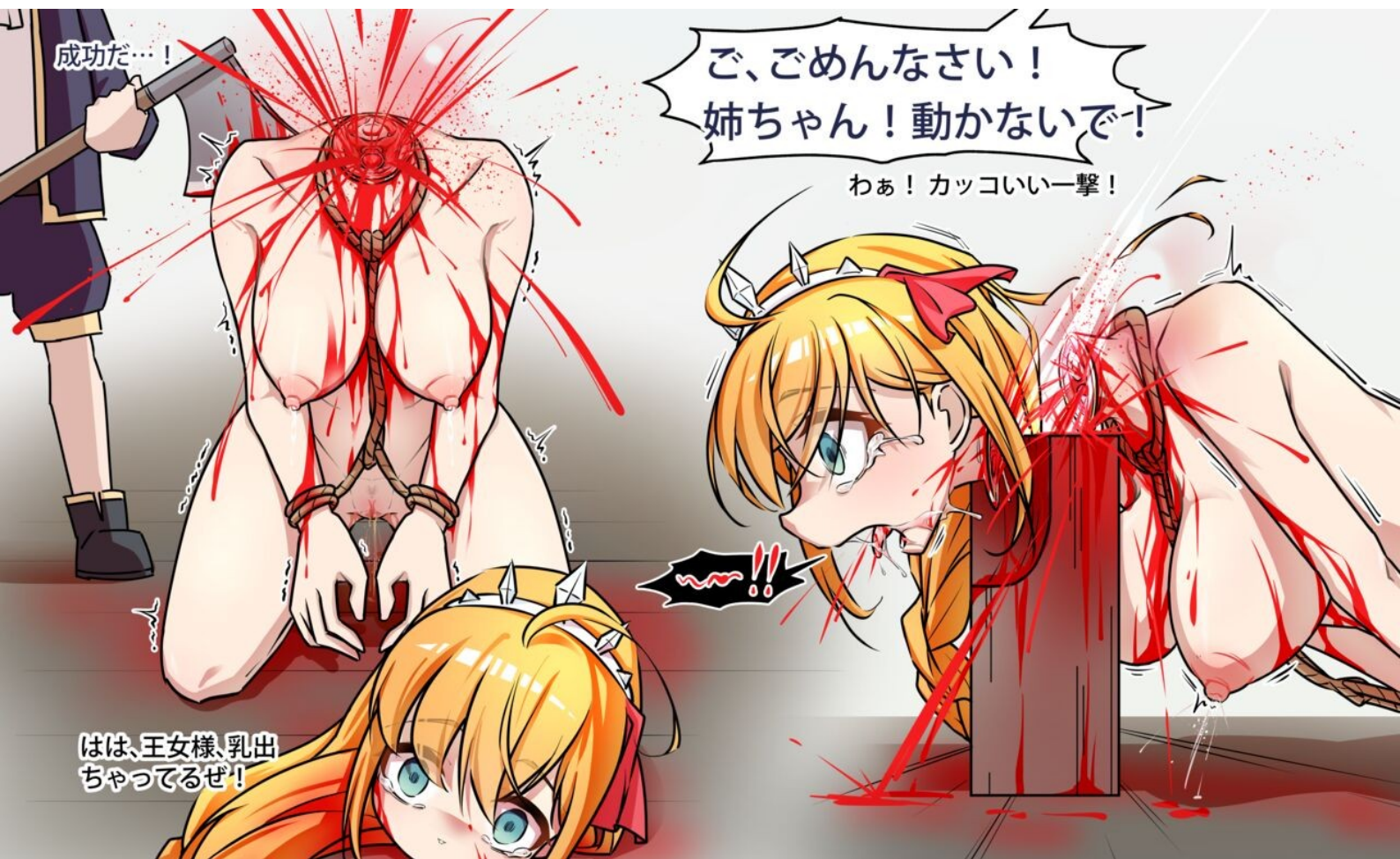


その斧は重すぎ  
じゃない？

あっ！斬りがずれた？

あっ...!

ああっ...あっ...



成功だ…！

ご、ごめんなさい！  
姉ちゃん！動かないで！

わあ！カッコいい一撃！

はは、王女様、乳出  
ちゃってるぜ！



姉ちゃんの身体が微かに  
痙攣するのを感じながら、  
ぎゅっと抱きしめていた。  
彼女の体温が完全に失わ  
れるまで。

もうすぐずっと一緒  
にいられるよ！

愛してるよ...

ふう...

ふう...

愛してるよ、ペコリーヌ！

まだ聞こえて  
るよね？

.....

処刑が終わった後、本来は王室の血を繋ぐために使われるべき  
高貴な肉穴が、国民に自由に使われることになるんだ。





今日、昔は傲慢だったり優しいだったりした人々も、全員が男性  
の欲望を解消するための肉のかけらになってしまった。



僕は本気だよ、ペコリーヌ姉さん...  
いつか君を妻にしたい！

え！？それは...

うわぁ...今の子供はこんなに早熟なのね...？

僕、僕は君にふさわしい男になるために頑張る！

.....本当に楽しみだね！



性処理人形 -  
ユースティアナ・フォン・  
アストライア

すごく綺麗だ...

夢で見たよりも美しい！







姉ちゃん...

今日から君は僕の妻だよ！

このいつも僕を気を散らす大きな胸...

これからは好きなだけ揉むから！







これは、わがままなお  
姉ちゃんへの罰です！

全身に僕の匂いを  
付けてやる！



姉ちゃんを外に連れて行く  
のが楽になるように、新しい  
スタイルを整えた。

ねえねえ、ペコリーヌ姉ちゃん、  
すごくちっちゃくなったね！

かわいいな…





責任を取って！出した  
精液を舐めてキレイに  
するんだ！

ああ...小柄でかわいい  
姉ちゃん...

また、おまんこに入  
れたくなっちゃう！





幸せな新婚生活が続くよ...

はあ...はあ...

おやすみ...姉ちゃん...

明日もっと愛情を示してやるぞ！



